

高知工業高等専門学校	開講年度	平成28年度(2016年度)	授業科目	無機材料
科目基礎情報				
科目番号	0051	科目区分	専門 / 必修	
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	物質工学科	対象学年	5	
開設期	前期	週時間数	2	
教科書/教材	教科書: 塩川二郎「入門無機材料」(化学同人)			
担当教員	安川 雅啓			

### 到達目標

#### 【到達目標】

1. 代表的な機能性無機材料について、その構造・製法・物性、及び応用について理解し、説明できる。

### ループリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	各種の機能性無機材料について、その構造・製法・物性を詳細に説明できる。	各種の機能性無機材料について、その構造・製法・物性を理解し、説明できる。	各種の機能性無機材料について、その構造・製法・物性を理解できない。
評価項目2	各種の機能性無機材料の応用について詳しく説明できる。	各種の機能性無機材料の応用について説明できる。	各種の機能性無機材料の応用について説明できない。
評価項目3			

### 学科の到達目標項目との関係

学習教育到達目標 (D) JABEE基準1(2) (d)(3)

### 教育方法等

概要	化学技術者が身につけるべき専門基礎知識として、各種の機能性無機材料に関する基礎的な知識を習得する。シリコン、セラミックスを中心とする機能性構造材料、半導体材料、誘電材料、磁性材料、発光材料などについて、それらの構造、製法、性質、及び応用について学習する。
授業の進め方・方法	教科書の内容および授業計画に従って授業を行う。
注意点	試験の成績を90%、平素の学習状況等(課題等を含む)を10%の割合で総合的に評価する。学年の評価は前学期中間及び前学期末の各期間の評価を平均する。技術者が身につけるべき専門基礎として、到達目標に対する達成度を試験等において評価する。

### 授業計画

	週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1週	1. ニューカーボン[1] : ダイヤモンド、グラファイト、フラーレンの構造、性質、応用を学ぶ。	ダイヤモンド、グラファイト、フラーレンの構造、性質、応用を説明できる。
	2週	2. 無機繊維[2] : 無機繊維の種類、製法、応用について学習する。	無機繊維の種類、製法、応用を説明できる。
	3週	3. アモルファスシリコン[3-5] : シリコンの構造、性質、太陽電池の発電原理について学ぶ。	シリコンの構造、性質、太陽電池の発電原理について説明できる。
	4週	3. アモルファスシリコン[3-5] : シリコンの構造、性質、太陽電池の発電原理について学ぶ。	シリコンの構造、性質、太陽電池の発電原理について説明できる。
	5週	3. アモルファスシリコン[3-5] : シリコンの構造、性質、太陽電池の発電原理について学ぶ。	シリコンの構造、性質、太陽電池の発電原理について説明できる。
	6週	4. 超伝導材料[6-7] : 超伝導体の特徴、種類、歴史、及び応用について学習する。	超伝導体の特徴、種類、歴史、及び応用について説明できる。
	7週	4. 超伝導材料[6-7] : 超伝導体の特徴、種類、歴史、及び応用について学習する。	超伝導体の特徴、種類、歴史、及び応用について説明できる。
	8週	5. 誘電体[8-9] : 誘電体の性質、種類、応用について学習する。	誘電体の性質、種類、応用について説明できる。
	9週	5. 誘電体[8-9] : 誘電体の性質、種類、応用について学習する。	誘電体の性質、種類、応用について説明できる。
	10週	6. 固体電解質[10-11] : 固体電解質の性質、種類、応用について学習する。	固体電解質の性質、種類、応用について説明できる。
2ndQ	11週	6. 固体電解質[10-11] : 固体電解質の性質、種類、応用について学習する。	固体電解質の性質、種類、応用について説明できる。
	12週	7. 磁性材料[12-13] : 物質の磁性と磁気特性、磁性材料の種類と応用について学習する。	物質の磁性と磁気特性、磁性材料の種類と応用について説明できる。
	13週	7. 磁性材料[12-13] : 物質の磁性と磁気特性、磁性材料の種類と応用について学習する。	物質の磁性と磁気特性、磁性材料の種類と応用について説明できる。
	14週	8. 発光材料[14-15] : 蛍光体及びレーザーの発光原理、応用について学習する。	蛍光体及びレーザーの発光原理、応用について説明できる。
	15週	8. 発光材料[14-15] : 蛍光体及びレーザーの発光原理、応用について学習する。	蛍光体及びレーザーの発光原理、応用について説明できる。
	16週		

### モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	化学・生物系分野	セラミックス(ガラス、半導体等)、金属材料、炭素材料、半導体材料、複合材料等から、生活及び産業を支えるいくつかの重要な無機材料の用途・製法・構造等について理解している。	3	
		無機化学	現代を支える代表的な新素材を例に、その機能と合成方法、材料開発による環境や生命(医療)等、現代社会への波及効果について説明できる。	3	

### 評価割合

	試験	その他	合計
総合評価割合	90	10	100
基礎的能力	0	0	0
専門的能力	90	10	100
分野横断的能力	0	0	0